



# 8月24日拡大世話人会開催

## これまでの運動を力に 市民と野党の共闘をさらに発展させよう！！

8月24日、拡大世話人会を開催しました。18地域革新懇、3職場革新懇、青年ネット、7賛同団体から44名が参加しました。

昨年末の総会からの活動を総括するとともに12月の総会までの運動をつかむ場となりました。大島良満代表世話人が開会あいさつ。田辺準也代表世話人が開会あいさつを行いました。議長に中島信行さん（代表世話人・緑平民懇）と柴田伸治さん（一宮革新懇）を選出しました。

**開会のあいさつ**  
**大島良満代表世話人**  
拡大世話人会は総会から半年の時期をめぐりに開かれ、運動の結果と教訓を出し合う場です。机の口の字して発言しやすいようにしました。たくさんの方の発言が出ることを期待します。（その後、議長の選出を行いました）

**提案（村上事務室長）は2面参照**

**特別報告（共産党県書記長）は5面参照**

### 討論

#### 古川大暁（民青同盟）

4月、大学生新歓に取り組み、青年は将来の働き方に不安をもっていることがわかった。ブラック企業でやっていけないのか。友人が金のことなどで進学もあきらめたことなど貧困・格差の拡大に心を痛めている。格差はなくなるらないのか。変わりうる社会を求める声がある。若者の実態調査で「時給1000円、働いて貯金ができる生活がしたい」の反応も。若者の要求がないわけではない。あなたの要求を実現するのが選挙だとわかれば、行動につながる。

#### 中西八郎（南区革新の会）

4区は2017年総選挙で民主党だった統一候補が希望の党に合流してしまい、共産党の人を統一候補にした。4区の革新懇は市民との連携、市民と野党の共闘をめざしているが中には根強い不信任があり、とまどいもある。

共産、緑の党などが共同のテーブルにあつまっている。3区の取り組みを深めていきたい。

しかし、今回の参院選では連絡なし。今後は学校の判断でやることも考えている。

#### 榎瀬一博（革新・日進の会）

参院選後にも集まり、活動を維持、発展させている。市民の要求をくみあげ、十三項目を深めてどんな内容かをつかむことが大事だ。誰でも経験したことがないものであり、国民連合政府を作るために、つなぐ会とも連携し積極的に取り組んでいきたい。

戦争法反対、廃止をめざして毎月第三土曜日に集会、デモをやっている。共産党・市民派議員も一貫して参加。この活動を基盤に日進市長選に統一候補を立てた。188票差で惜敗。女性市長誕生を逃した。選挙のために政策づくりを市民と共に、市民派議員と一緒にスマー

トインスター・道の駅づくりをゆるさず、コミュニティバス充実に向けて運動をしている。

#### 知崎広二（愛労連）

7月に定期大会をやった。山尾、岡本、重徳、吉田氏からもメッセージがきた。大きな変化。国の最賃制が引き上げられた。東京は1000円になった。最賃制審議会、労働委員会が「連合」独占になっている。愛労連として点在する介護職員組織化をめざしている。

毎月9の日にこだわって街宣している。9、19、29の日には、中村公園に市ができるので、地下鉄駅頭、参道に20人くらい参加する。高校生に（松陰、中村、同朋高校）にパンフレットを配布している。「もう少しパンフが欲しい」と言ってくることもある。

#### 西村秀一（緑平民懇）

3年前、戦争法を許さない緑区の会から野党統一をめぐり取り組みを始めた。3区市民アクションとも連携している。市民アクション、立憲民主、

#### 斎藤大地（名高教）

18歳選挙権がはじまり、これまで選挙になると名古屋市の管理委員会から連絡がきて、高校の昼休み放送で「18歳選挙権、投票に行こう」と訴えていた。

#### 井上勲（中村区革新懇）

毎月9の日にこだわって街宣している。9、19、29の日には、中村公園に市ができるので、地下鉄駅頭、参道に20人くらい参加する。高校生に（松陰、中村、同朋高校）にパンフレットを配布している。「もう少しパンフが欲しい」と言ってくることもある。

# あいちトリエンナーレ「表現の不自由展・その後」の再開を



8/24集会後のデモ



革新・北区の会での宣伝（ナゴヤドーム前）

事宛に再開を求める要望書を提出しました。革新・愛知の会も8月10日に大村知事と河村市長へ申し入れをしました。ナトリエン参加

9月13日には、革新懇として緊急シンポジウムを愛知芸術文化センターで開催します。「県民の会」は、9月9日に大村実行委員長あてに申し入れをし、9月22日午後からは「今すぐみたあい! 『表現の不自由展・その後』の再開をもとめる全国集会inなごや」を開催します。

## 9/13革新・愛知会 シンポジウム開催へ

あいちトリエンナーレで「平和の少女像」など展示した「表現の不自由展・その後」の中止を河村たかし名古屋市長や松井一郎大阪市長が求め、会場内外への卑劣な脅迫が相次ぎ、開催からたった3日で展示が中止されました。

河村市長の発言は憲法に保障されている表現の自由への攻撃であり、検閲です。民主主義社会の根幹である表現の自由が保障されるべき芸術作品が、卑劣な脅迫により

安全を理由に中止となったことにも多くの市民が立ち上がっています。同展は、これまでにも拒否されてきた作品です。中止決定の翌4日に会場前で横断幕やプラカード、「小さな少女像」を掲げ抗議行動を行いました。「再開を求める県民の会」が結成されました。8月7日に名古屋市長への抗議と謝罪要求、愛知県知



連日のスタンディング

アーティストの抗議のアピール、全国や県下の団体も再開をもとめて声明や抗議のアピールをあげています。「県民の会」は連日スタンディングを行い、革新・北区の会や西区でも抗議と再開を求めて街頭宣伝がおこなわれました。

**2019年**  
**連続憲法講座**  
**いまこそ**  
**憲法**

い努力を話され、沖縄基地問題の元凶としての安保条約・地位協定を指摘されました。沖縄と本土の連帯の意義は大きい。そしてそれぞれの地域で米軍基地をなくす運動を進めること、何よりも学習を、と話され、沖縄が日本を変える役割を果たすのではとも語られました。

### ☆第4回の振替講座

9月21日(土)

13:30~16:30

「参院選の結果をふまえて日本の民主主義を考える」

講師 本秀紀さん(名古屋大学教授)

会場 労働会館本館

1・2・3会議室

### ☆第6回(最終回)

10月26日(土)

13:30~16:30

「アベノミクスの終焉―世界同時株安の危機―」

講師 森原康仁さん(専修大学教授)

会場 労働会館東館

2階ホール



